

## 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性の決定

当社は、健康保健事業におけるデータ処理・分析業務の高度化と顧客サービスの質向上を中核とした経営方針を掲げている。

・健康保健事業を取り巻く環境は、データ量の増加、個人情報保護の高度化、迅速なサービス提供への社会的要請など大きく変化している。この変化に対応し、持続的に価値を提供し続けるためには、業務プロセスのデジタル化とデータ活用の高度化が不可欠である。そのため当社は、以下の3つをDXの基本方針として定めている。

### 1 業務効率化の徹底

- ・健康測定データ処理
  - ・特定保健指導面談記録
  - ・事業実施結果報告書作成
  - ・スケジュール調整
- などの業務をデジタル化・標準化し、生産性を向上させる

### 2 業務自動化による品質向上

- ・在庫下限アラート通知システム
  - ・外部サービス連携通知
  - ・保健指導受付共有連携システム
- などを活用し、ヒューマンエラーを削減し、安定した業務品質を実現する

### 3 顧客価値の最大化

- ・個人結果データの即時可視化
  - ・事業実施結果報告書や見積書などの自動化システムの構築
  - ・問い合わせ対応時間の短縮
- など顧客体験の向上を重視したサービス提供を行う

これらの取り組みを通じて、当社は「データに基づく迅速で高品質な健康支援サービスを提供する企業」への進化を目指します。

意思決定機関の決定に基づいていることの説明：

本方針は、取締役会において審議・承認されたものであり、当社の中長期的な経営戦略の柱として正式に決定された。経営層がDX推進の重要性を認識し、情報処理技術の活用を企業成長の基盤と位置づけている。

また、DX推進委員会の設置による各部署を横断した体制構築など、経営層が主体となって推進基盤を整備しており、継続的な改善を前提としたガバナンス体制のもとでDXの方針が全社的に実行される仕組みを確立している。